

学校名	神崎市立千代田中部小学校		
1 前年度 評価結果の概要	・学校目標達成に向けて校務分掌や学級経営においてそれぞれが役割を果たすとともに、連携・協力しながら職責を果たすことができ、ほとんどの項目がA評価であった。 ・教員から認められていると感じている児童は9割を超えているが、「自分のことが好き」と回答した児童は8割に満たなかった。人権感覚、主体性を育む取組を充実させながら、自己肯定感や自己有用感、他者を尊重する態度を育み、一人一人が自信をもって学校生活を送れるようにする。 ・ICT活用については、校内研究を通していろいろな教科で効果的な活用方法を探り、実践を積み重ね、情報の共有化も少しずつ進んできた。来年度も研究、実践を継続していく。		
2 学校教育目標	「賢く 優しく 遅しく」自分で考え行動できる児童の育成		
3 本年度の重点目標	1 学力向上（ICT利活用教育の充実／／思考力・判断力・表現力の育成／家庭学習の充実） 2 児童の自己有用感や規範意識の醸成 3 特別支援教育の視点に立つ教育の推進 4 勤務時間の縮減に繋がる業務効率化・適正化、組織体制の工夫		
4 重点取組内容・成果指標			
(1)共通評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	○表現力(アウトプット)を柱とした学力向上のための授業改善・環境改善	○学習状況に関するアンケートにおいて、「授業がよく分かる」「自分の考えを伝えている」「話を最後まで聞いている」と回答した児童85%以上	・校内研で様々な教科の授業を参観することにより、教師の授業力の質を向上させる。 ・教育活動の様々な場面で考えを伝え合う場を設定する。 ・スキルタイムを共通実践し、音読や語彙力・計算力の定着を図る。
	○学習規律を整え、家庭学習の充実を図る。	○学習道具の準備、自主性、集中力、宿題提出の項目で達成率80%以上	・ぐんぐん週間の実施。 ・家庭学習の内容を精査し、児童が意欲をもって自主的に取り組めるようにする。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○思いやりや道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童85%以上	・児童に道徳に関するアンケートを行う。 ・平和に関する集会や、人権に関するなかよし集会の企画・実施。 ・保護者が参画したふれあい道徳を実施。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等について、組織的対応ができていると回答した教師85%以上	・心のアンケートを実施し、事後対応や指導を適切に行うよう働きかける。 ・いじめの覚知・認知に対する対応マニュアルの周知を図る。 ・いじめ防止に関して、生徒指導、教育相談や各連絡会を関連付けて実施する。
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・各学級で教師が行っている児童のよさを認める取り組みを紹介し共有する。 ・授業や行事の中で児童に多くの出番や役割を与えて賞賛し振り返りで価値づけを行うことで、次の活動への意欲や自分の生活・生き方への意欲をもたせるようにする。
●健康・体づくり	○「望ましい生活習慣の形成」 ○「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○生活習慣に関するアンケートで肯定的な回答をした児童80%以上 ○「健康に良い食事をしている」児童90%以上	・望ましい生活習慣について、多角的な視点から保健指導等の実施や保健だよりを発行し、児童・保護者への啓発を図る。 ・食育授業や給食時間の指導を行い、望ましい食習慣の定着を図る。また、食育だよりを発行し、保護者への啓発と家庭での協力を得る。
	○「安全に関する資質・能力の育成」	○避難訓練(風水害、不審者対応、地震・火災)や交通安全教室の計画的な実施。 ○自転車のヘルメット着用率95%	・交通安全教室を行い、正しい判断のもとに安全に行動できるようにする。 ・年間3回の避難訓練(風水害・不審者・地震火災)を実施し、緊急時の心構えや安全な避難の仕方を理解させる。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・パソコンによる業務管理の徹底 ・定時退勤日の設定 ・時間外勤務時間のフィードバックによる個々人の業務改善の推進 ・業務分担、計画的な業務推進等による年休取得率アップ
●特別支援教育の充実	○個々が大切にされる学校風土の醸成	○毎月の生徒指導連絡会や研修の実施 ○保護者アンケートにて「個々に寄り添う丁寧な対応」への肯定的な回答80%以上。	・教職員がもつ個々の課題に対応する校内研修を特別支援教育Coが希望者向けに月に2回、全職員に対してはより高い専門性を持った外部講師を招へいしての研修を年に2回実施する。 ・毎月の連絡会で、気になる児童の情報交換を行う。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○タブレットを活用した学習活動の充実	○各教科でタブレットを積極的に使用する	○タブレットPC使用のアンケートで週3時間程度使用したと答えた割合が85%以上。	・校内研究でタブレットPCの活用法について研修を行う。全ての学年においてタブレットPCを活用し効果的な取り組み実践を紹介し、情報を共有化していく。
○保護者・地域との連携	○開かれた学校の推進	○保護者アンケートにて学校や学級の情報発信について肯定的回答80%以上。	・学校HPを週2回以上更新し、学校の様子を家庭や地域に発信していく。
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育			
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・		